

社会福祉法人宇和島市民共済会  
**平成27年度事業報告書**  
(老人デイサービスセンターいこい)

平成27年度の事業計画に掲げた、下記の運営方針を基に事業目標を定め、関係諸機関・地域ボランティア等との連携を図り、利用者及び、介護者の側に立った対応を目指し、より一層質の高いサービスの提供に努めた。

## 運営方針

通所介護事業所運営規程に添い、常に利用者及び、家族・介護者の立場に立ち利用者の残存機能の維持向上、又地域に根ざしたデイサービスセンターを目指し、全ての利用者及び、家族に対して公平でよりよいサービスを提供できるよう努める。

## 事業目標

### (1) 予防給付事業

- 宇和島市に設置された「地域包括支援センター」と連携を図り、要支援利用者に対する介護予防サービスに取り組んだ。
- 選択的サービス体制確保のための記録様式の充実と実施方法の検討、その点に付随する各職員のスキルアップ研修参加と職員会議の実施。
- 利用者の心身状態は日々変化しており、常にモニタリングが必要である。  
日々のミーティング、月末にしか実施していなかったデイ会議を週単位で実施する等、ケースカンファレンスを充実し目標の見直しを図った。
- 職員それぞれに利用者の担当制を設け、利用者の状態把握と計画の立案、経過記録の作成を図ることで、よりきめ細かな対応に努めた。

### (2) 介護支援専門員及び、関係諸機関との連携

- サービス担当者が、一堂に会してのケアカンファレンスも定着が図られ、開催される回数も増加している。デイサービスとしても積極的に参加できるよう調整を図り、利用者の状態の把握と、今後の連携促進に努めた。
- 介護予防のみでなく要介護者に対してもアセスメントから評価までのプロセスの見直し、記録様式の簡素化、情報提供の充実を図った。
- 介護予防事業を中心に「地域包括支援センター」の呼びかけにより、行政機関を利用し「通所事業連絡会」（概ね3ヶ月に1回）も8年目を迎えた。
- 利用者へのサービスの質の向上、又、介護報酬請求事務等においても、行政、居宅介護支援事業所、他のサービス事業所等からの情報提供は重要であり、今後とも連携強化を図っていく。

### (3) 地域住民、家族との連携

- ボランティア団体として、大変御協力を頂いておりますさくら会、和霊民協、日赤奉仕団のボランティア会員の方々から御出席を頂き、きめ細やかな配慮、

馴染みの関係作りに寄与していただいております。利用者の皆様からも、「お会いできることを楽しみにしています。」という声も聞かれ、今後も可能な限りで継続して戴きたいと考えます。

○看護師の努力により、いこいノートの有効活用が図られ、家族との連絡がスムーズに運ばれた。

今後とも、家族のニーズ発掘・現状の把握のため、継続実施していく。

#### (4) サービス内容の充実

○介護職員の工夫と努力により、利用者からの声を活かしたおやつを提供を、健康状態に合わせて提供することができた。利用者の状況の変化に対応し、カロリー制限のある方や糖尿病を抱えた方の利用が増加したため、月単位のおやつ回数も変化を見ながら施設と一体となり対応を図った。

○新しい車輛も購入することができ、よりきめ細かく毎月、運行表の見直しを行い、効率的、かつ安全で利用者の利便性を考慮した順路、送迎車両の設定を図ることができた。

○利用者の自立支援を優先した入浴方法・食事方法を検討し、実施することができた。利用者からも食事・入浴に関しては、カンファレンス等でも大変好評を頂いた。

○利用前訪問時の聞き取り、そして利用経過のモニタリングにより栄養士主体で食事メニュー（食材、調理方法、食事方法）の見直しを図る事ができた。

#### (5) レクリエーション活動の充実

○季節のドライブを、4月（桜の花見）、8月（そうめん流し）、10月（コスモス）、12月（紅葉狩り）、2月（梅の花見）を実施した。

○屋内ミニ運動会を10月に、紅白に分かれたボール運び・パンを争奪する自立目的の競争・音楽に合わせた体操の3つのプログラムを実施し利用者にも大変好評であった。

○12月は正月飾り作成を実施した。利用者に対し大変好評であり、今後も継続的に実施することとする。

○9月の敬老会及び年末の忘年会の実施については、介護職員の側面支援により、利用者参加型による様々な衣装や季節感やユーモアを取り入れたレクリエーションを開催した。

※終始笑顔が見られ生活意欲向上の一助となった。

○新年に、八幡神社への初詣を実施するため、事前に社務所へ連絡をし、スムーズに参拝することができた。

○毎月、月末頃に実施するカレンダーづくりにより、利用者の季節感及び習慣性獲得の一助となった。

○和霊大祭前に利用者の季節感獲得のため職員による利用者参加型のミニいこい祭りを実施し大変好評であった。

※今後とも、マンネリになりがちなサービスに変化を与える意味でも、利用者が積極的に参加していただけるレクの企画に努めていく。

**(6) 緊急時対応マニュアルの徹底**

○全利用者の掛かり付け医の把握、個別緊急連絡先等のケース帳への記録。

○救急車の出動要請。

○近隣開業医への対応依頼。

(上記の点について職員の意識改革・緊急時の対応力向上が図れた。)

**(7) 研修、見学**

○各種研修会への参加は積極的に図れた。

○他の通所事業所への見学を実施し、互いの事業所のよい点を認め合い、連携の強化と職員のスキルアップが図れた。

**(8) その他**

添付資料 平成27年度利用状況表及びデイサービス出来高表